

ゆきわり草

(公社)新潟県理学療法士会ニュース No.207

発行日 令和6年5月2日
発行責任者 佐藤 成登志
会員数 1,596名
事務局
公益社団法人 新潟県理学療法士会 事務局
新潟市中央区南笹口1丁目1番38号
コープオリンピア笹口303号
電話 025-250-7660
FAX 025-250-7661



2023年度の振り返りと今後の展望

公益社団法人 新潟県理学療法士会

会長 佐藤 成登志

2024年度がスタート致しました。会員の皆様方におかれましてはお変わりなくお過ごしでしょうか。2020年度から生活に大きな影響を与えてきたCOVID-19もワクチン接種や感染対策等を十分に行いながら少しずつ緩和され、以前の生活に戻ってきております。会議や学術大会・研修会などは、対面とリモートによるハイブリッド形態の開催が多くなってきております。2024年2月に上越市で新潟県理学療法学術大会が4年ぶりに開催されました。対面でしか得ることができない面も多くあり、対面開催の必要性を再確認できました。

2024年1月1日に発生した能登半島地震により多くの方々が被災され現在も復興に向けた活動が行われております。新潟県においても被害があり、発生直後に会員の方々の被害状況を把握させて頂きました。人的な被害はありませんでしたが、自宅や職場などへの被害のご報告を頂きました。改めましてお見舞いを申し上げます。発生後から士会の災害対策委員会を中心に石川県への計4隊の新潟JRAT派遣を行うことができました。派遣要請に応じて頂きました方々、現地に派遣して頂きました方々にこの場をお借りしまして深謝申し上げます。

2023年度は役員総選挙による新体制となりました。理学療法士や県民のために資する活動を継続的に進めていくために士会の組織体制を見直しました。具体的には、部長とブロック長の下に副部長とブロック長補佐の配置を提案し進めてきました。また、ブロック運営委員会を社会職能局ブロック運営部とし、ブロック活動がさらに促進できるための体制としました。今後もさらに組織強化を進めていきたいと考えております。

また、各事業における会員の派遣を継続的に進めていくために登録制度(PTバンク)の設置を提案しました。労働者就労支援委員会を中心に労働者就労支援部員の登録制度を進めることができました。この制度や新潟産業保健総合支援センターとの連携により多くの業種・企業への派遣を行うことができました。今後は他の部局でも同様の制度を構築し継続的な派遣ができるように考えております。

さらに、県からの受託事業である地域包括ケア支援専門職の人材育成及び派遣調整事業(新潟県リハビリテーション専門職協議会関連)および介護予防推進リハビリテーション指導者総合育成事業(新潟県地域包括ケア支援専門職協議会関連)に加え、2023年度からは、新潟市フレイル予防事業および就労支援事業が士会主導で本格的に開始されました。これらの事業は、理学療法士の職域拡大や外部資金獲得に繋がる事業展開と考えており今後も推進していく予定です。

組織代表である田中昌史氏の補欠当選により我々理学療法士を含みリハビリテーション関連職種の処遇が保たれ未来への期待を感じることができました。引き続き新潟県理学療法連盟と連携しながら組織代表の支援を行っていきたくと考えております。

最後に、社会変動に伴い理学療法士の情勢は大きく変わってきており、それに伴い当士会も多くの業務に対応してきております。詳細な内容については、6月9日(日)の総会時に皆様方にご説明をさせて頂きます。是非多くの会員の方々にご参加頂き、理学療法士と県民の今後の展望について協議できることを期待しております。

目次

2023年度の振り返りと今後の展望	1	2023年度第4回理事会議事録	9
リレーエッセイ	2	2023年度第5回理事会議事録	11
職場紹介	3	2023年度 公益社団法人新潟県理学療法士会 第6回理事会議事録	14
学術局生涯学習部だより	4	育児休業割引、シニア割引のご案内	16
第29回新潟県理学療法学術大会 優秀演題!	8	令和6年能登半島地震被災による会費減免、 見舞金について	16
表彰委員会からのお知らせ	8	事務局ニュース	17
新潟県小児理学療法マップの改訂について	9	広報部ニュース	18
		編集後記	18

リレーエッセイ 1

「私の好きなラーメン」

南魚沼市民病院 内藤 優

私はラーメンが好きです。幼い頃はそこまでラーメンが好きではなかったのですが、成長期でラーメンの沼にハマってしまいました。数々のラーメンを食べてきた中で、好きなラーメンをランキング形式で発表したいと思います。

【第3位】蒲原ラーメン きぶんー（肉ラーメン）

細めの縮れ麺であっさりした豚骨スープと花びらチャーシューが美味い。めちゃくちゃ混みますが回転率が早いです。替え玉一玉無料が嬉しい。

【第2位】手打ちラーメン 勝龍（角煮味噌ラーメン）

ボリュームですが見た目よりあっさりしていて、手打ち太麺がもっちり美味い。たまに店長がサービスしてくれるのが嬉しい。

【第1位】隠れ家麺屋 長太（味噌ラーメン）

野菜たっぷりでコクのある濃厚スープが太麺と絡んで最高。飽きることなく最後までずるずるいけちゃいます。場所は隠れ家的なところがありますが人気で毎回並ぶので開店前に行くのがおすすめ。

惜しくもランキング外ですが、新発田市にあるのろし（汁なしニンニクトッピング）も絶品です。皆さんもぜひ食べてみてください！

次は南魚沼市民病院の飯酒盃萌さんです！



リレーエッセイ 2

「私の大好きなうちのアイドル」

けいなん総合病院 小林 由貴

うちのアイドル、愛犬「ふう」を紹介します。シーズーの男の子で、我が家に一昨年の年末に来ました。迎えた時はまだ小さく、コロコロと転がるように家の中を駆け回っていました。ふうの大好きなもののお散歩です。私がお散歩の準備を始めると、早く行きたくて大興奮！玄関先でジャンプして



います(笑)お散歩前に疲れちゃうよ～と思っていますが、外に出るとランニングが好きな私と一緒に走ってくれます。「GO!」と声をかけるとスピードを上げてダッシュするのが定番なのですが、今ではふうの方が速くて私がついていけません。登山が趣味の私たち夫婦に連れられ、山にも行きました。その山には他にもワンちゃんが登っていたのですが、大型犬にも負けずグングン登っていくふうの姿に逞しさを感じました。いつも私たちに笑顔と元気と癒しをありがとう！

次回は悠遊健康村病院の赤木絢子さんです。

職場紹介

社会福祉法人村上岩船福祉会 いわくすの里

村上岩船福祉会では「一人ひとりの安心と笑顔のために」を基本理念に掲げサービスご利用者が可能な限り自立した生活、その人らしい生活を送れるよう支援しております。いわくすの里には複数の事業所が併設しており特別養護老人ホーム、デイサービスセンター、障害者支援施設に理学療法士2名、作業療法士1名が1名ずつ配置され日々業務を行っております。

ご利用者の生活の場である特養ではベッド上で体動が無く除圧を自力で行うことが難しい方へのポジショニング作成、ADL維持のための動作練習や筋力、関節可動域運動を実施しご利用者が生活の中で可能な動作を継続出来るよう支援しております。デイサービスでは数種類のマシンを設置し、リハビリの充実化を図っています。また、村上市の事業である通所型サービスCの委託を受けており、地域の方々にも介護予防の考えが浸透するように努めています。

また、当施設ではノーリフティングケアの定着のため講習会や委員会を定期的を実施しています。介助する側・される側共に負担の少ない介助方法についてアドバイザーという立ち位置から助言し、今後ノーリフティングケアの考えを法人全体に浸透させることが出来るよう努めていきたいと考えています。



学術局生涯学習部だより

学術局長 高 鳥 真 健
生涯学習部部長 田 中 健

会員の皆様には平素より当士会活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。
新卒・新入職員の日本理学療法士協会・新潟理学療法士会への入会促進にご協力をお願い致します。

■ 第29回新潟県理学療法学会 盛会裏に閉会！

今大会は、テーマを「『伝える』知識を、技術を、そしてマインドを」とし、2月24・25日の二日間、高田城址公園オーレンプラザ（上越市）にて開催いたしました。

2018年の第27回大会以降、2020年に予定していた第28回大会は感染症により中止となり、県学会としては実に5年ぶりの開催となりました。また、上越地区では2016年以来の7年ぶりの開催でした。

第1回準備委員会から356日間の準備を経て無事に開催することができ、二日間で415名の参加がありました。これもひとえに、山本典子大会長、荻井夏江準備委員長をはじめとする上越ブロックの会員の皆様の連携の強さ、団結の強さの賜と改めて感謝申し上げます。

次期大会に「伝えられる」大変素晴らしい学術大会になりました。ご参加、ご協力いただきましたすべての皆様に御礼申し上げます。誠にありがとうございました。



■ 第29回新潟県理学療法学会 優秀演題受賞者

大会長賞

運動耐容能が良好であるにも関わらず低活動の心不全患者の特徴

新潟大学医歯学総合病院 清野 健二 先生

奨励賞

片側の Foam Roller および Vibration Foam Roller 介入が反対側に与える影響

新潟医療福祉大学 運動機能医科学研究所 笠原 一希 先生

学会特別賞

通所型サービスCの利用により、通所リハビリテーションから通いの場へ移行した一例

ウエルネス中条 小野 健太 先生

受賞者の皆様、誠におめでとうございます。

■ 第30回新潟県理学療法学会 準備委員会始動！

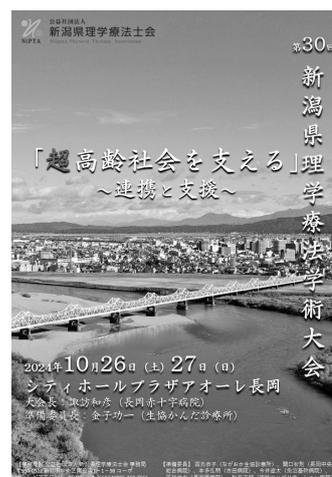
今大会は、テーマを「『超高齢社会を支える』～連携と支援～」とし、長岡市シティホールプラザオーレ長岡で開催することが決定しました。

現在6年に1度の医療・介護・障害福祉等のトリプル報酬改定が行われ、その骨子が明らかになってきました。全ての団塊の世代が75歳を超えるポスト2025を見据えた地域包括ケアシステムの深化・推進や医療DXを含めた医療機能の分化・強化、連携の推進が謳われています。医療と介護のあるべき連携の姿として、相互のコミュニケーションを深め、現状、課題、目標、計画などを共有しながら、患者（利用者）、家族とも同じ方向に向かい、より質の高い医療・介護の実現につなげる必要性が示されました。そのような情勢を踏まえ、今大会のテーマを設定しました。是非多くの方にご参加いただき、活発な意見交換と情報共有が行えれば幸いです。

第30回新潟県理学療法学会 開催概要

- 名称：第30回新潟県理学療法学会
 会期：令和6年10月26日（土）～27日（日）
 テーマ：「超高齢社会を支える」～連携と支援～
 会場：シティホールプラザオーレ長岡
 （〒940-006長岡市大手通1丁目4番地10）
 大会長：諏訪和彦（長岡赤十字病院）
 準備委員長：金子功一（生協かんだ診療所）
 準備委員会：霜鳥恭子（ながおか生協診療所）
 今井遼太（魚沼基幹病院）
 平林尚也（長岡西病院）
 関口智則（厚生連長岡中央総合病院）
 本多弘明（吉田病院）
 松井洋輔（晴陵リハビリテーション学院）

主なプログラム：特別講演、セミナー、シンポジウム、一般演題発表



■ 2024年度新潟県理学療法士会主催研修会 予定

	研修会	テーマ／講師	日程	会場
5月～6月	新人オリエンテーション・前期研修A	A-1 「職業人と倫理」 A-2 「協会組織」 A-3 「人間関係および接遇」 A-4 「理学療法における関連法規」 A-5 「理学療法における情報管理」 A-6 「生涯学習について」	5月26日 6月16日 6月30日	対面・Web ハイブリッド開催
6月	第115回研修会 定期総会	「がん理学療法の基礎と実際」（仮） 講師：高倉保幸 先生（埼玉医科大学）	6月9日	調整中

2024年度臨床実習指導者講習会

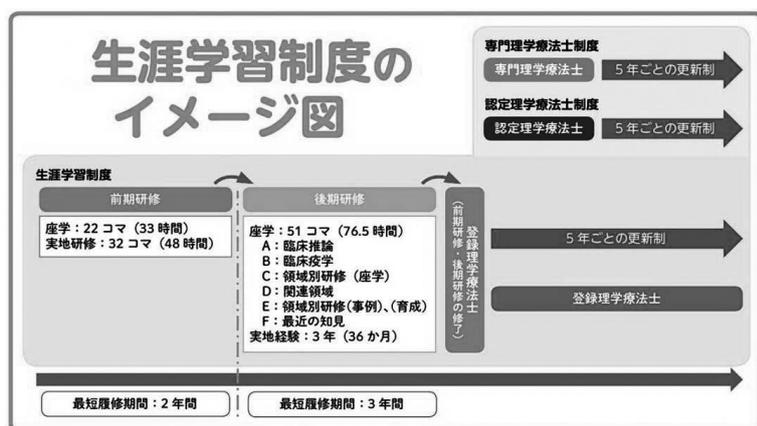
	主催	日程
臨床実習指導者講習会	新潟医療福祉大学	8月22・23日
	看護リハビリ新潟保健医療専門学校	11月2・3日
	晴陵リハビリテーション学院	11月16・17日
	新潟リハビリテーション大学	2025年3月8・9日

県士会主催以外

2024年6月29・30日	第59回日本理学療法学会学術研修大会 in 東京	東京国際 フォーラム	大会長 豊田 輝
2024年9月7・8日	第10回日本呼吸理学療法学会学術大会	朱鷺メッセ新潟コン ベンションセンター	大会長 瀬崎 学
2024年10月5・6日	第43回関東甲信越ブロック 理学療法士学会	幕張メッセ	大会長 田中康之

■ 新生涯学習制度について

生涯学習制度の概要



生涯学習制度の3つのポイント

1. 日本理学療法士協会（新潟県士会）へ入会した理学療法士は、まず「前期研修」を履修します。その次に「後期研修」を履修することで「登録理学療法士」となります。
2. 「登録理学療法士」となった本会会員は、5年ごとの更新を目安に自己研鑽を続けます。
3. 登録理学療法士を基盤とし、より高い専門性を兼ね備える「認定理学療法士」、「専門理学療法士」制度を構築します。

詳しくは、協会ホームページをご確認ください >>>
<https://www.japanpt.or.jp/pt/lifelonglearning/new/>



■ 感染予防・感染拡大防止への対応について

当士会主催の研修会実施に際して、感染症予防および感染拡大防止の対策として以下のように対応していきます。

<当士会の対策>

研修会に関わるスタッフは、日常における体調管理を徹底し、検温、手洗い、うがい、マスク着用等の感染予防を励行した上で対応をいたします。

<参加者へのお願い>

- 受付時に体温計測は実施しません。発熱、咳などの症状がある場合は、参加を控えていただきますようお願いいたします
- 参加時のマスク着用は各自の判断でお願いいたします
- 会場内には消毒液を設置しておりますのでご利用ください
- 受講中に体調の変化が認められた場合は、無理をせずに早めにスタッフへお申し出ください

■ 県士会主催Web研修会への参加方法について（Zoomシステム利用の場合）

- パソコンもしくはスマートフォンに、Zoomのアプリをインストール（無料）し、登録を済ませてください
- Zoomの使用につきましては、各個人での責任でお願いいたします。接続中は多くの通信量（およそ90分で0.5GB）が必要です。Wi-Fi環境をご確認の上ご利用ください。研修会にかかる通信料金については、県士会は一切の責任を負いかねます。予めご了承ください
- お申し込み後、申し込み時のメールアドレスへ参加に必要なURL、ID、パスコードをお知らせします。研修会によってはZoomミーティングの事前登録をお願いする場合がございます。
- 研修会開催日3日前になっても参加に必要なURL、ID、パスコードが届かない場合は、各研修会の問い合わせ先へご連絡ください

- 研修会によってはZoomミーティングへの入室方法が異なる場合がございます。各研修会案内をご確認ください
 - 研修会時に出欠確認を行う場合があります。県士会主催の研修会へ参加の際は、名前を「会員番号_氏名(フルネーム)」でご登録ください
 - Zoom画面の録画や録音、撮影は一切行わないようにお願いします
 - 不正行為が確認された場合は、受講を認めずポイント付与にならない場合があります
- ※メールアドレスの入力不備により参加できない事案が多く発生しております。登録の際はご注意ください

☆研修会ポイント認定について

遅刻や早退はポイント認定にならない場合がありますのでご注意ください。

参加確認として、協会会員アプリのQRコードを使用する場合があります。協会会員アプリのインストールとログインできるようにご準備ください。

☆研修会申込み後のキャンセルについて

ご注意ください！ 研修会申込み後のキャンセルについては返金が出来ません。

原則として参加承認後のキャンセルに伴う返金は出来ません。また、参加費の支払いをせずに欠席された場合でもご入金頂く場合がございます。あらかじめご了承ください。

お申し込みの際は、よく検討した上でお申し込みくださいますようお願いいたします。また、止むを得ず欠席の場合は、キャンセル用アドレスからご連絡頂きますと幸いに存じます。ご理解とご協力をお願いいたします。

キャンセル専用アドレス：pt.gakujutu@gmail.com

※研修会が天候等の事情でやむを得ず中止・延期となる場合は、メールにてご連絡をいたします。協会に登録してある連絡先メールアドレスに送信いたしますので、メールアドレスの登録及び受信可能なアドレスであることを確認してください。また、県士会ホームページに情報掲載を行いますので、必ずご確認ください。

○新生涯学習制度関連のお問い合わせ

桑名病院 田中 健

E-mail: ken-pt@mail.goo.ne.jp

○学術誌関連のお問い合わせ

新潟リハビリテーション病院 立石 学

E-mail: nirehp.m-tateishi@aiko.or.jp

○学術局全体のお問い合わせ

晴陵リハビリテーション学院 高鳥 真

E-mail: takatori@seiryu-reha.ac.jp

各種車椅子・座位保持装置・ベッド・コミュニケーションエイド
福祉機器・介護用品・介護保険レンタル・住宅改修

(株) G・T・B (オーエックス新越)

〒956-0017 新潟県新潟市秋葉区あおば通2-28-27
TEL 0250-25-2626 FAX 0250-25-7710
<http://www.gtb-niigata.jp>

有限会社 長谷川義肢製作所

〒951-8124 新潟市中央区医学町通り1-44
電話 (025) 223-3630
FAX (025) 222-2750

Hi 看護リハビリ新潟保健医療専門学校
厚生労働大臣指定理学療法士養成施設・看護師養成所

〒950-0086 新潟市中央区花園 2-2-19
TEL: 025-240-0003 FAX: 025-241-6655
URL: <http://www.hi-college.ac.jp>

全てはお客様の笑顔のために



まごころ印刷の
株式会社 タカヨシ

■本社・工場
〒950-0141 新潟市江南区亀田工業団地1丁目3-21
TEL (025) 381-2000代

帳票

発送代行

ラベル・シール

WEB・デジタル

医療関係印刷物はタカヨシで <https://www.takayoshi.co.jp>

第29回新潟県理学療法学会 優秀演題！

学術誌部 立石 学

第29回新潟県理学療法学会では、会員の皆様より口述発表30演題を発表していただきました。パワーポイントの作成と発表の練習、本当にお疲れ様でした。どの発表も大変素晴らしく優秀演題の選考は大変苦慮しました。その中から、大会長、副大会長および学術局員が大会長賞、奨励賞、大会特別賞を各1名選出いたしました。

【大会長賞】

「運動耐容能が良好であるにも関わらず低活動の心不全患者の特徴」

新潟大学医歯学総合病院 清野 健二

【奨励賞】

「片側のFoam RollerおよびVibration Foam Roller介入が反対側に与える影響」

新潟医療福祉大学 運動機能医科学研究所 笠原 一希

【大会特別賞】

「通所型サービスCの利用により、通所リハビリテーションから通いの場へ移行した一例」

ウェルネス中条 小野 健太

今後とも各賞が、学会の活性化と会員皆様のモチベーションアップにつながることを願っております。

表彰委員会からのお知らせ

倉島信作 元会長が厚生労働大臣表彰を受賞されました。

令和5年度公衆衛生事業功労者に対する厚生労働大臣表彰に士会より倉島元会長を推薦し、この度受賞されました。この表彰は、多年にわたり、健康増進、疾病予防、生活衛生、衛生教育等の公衆衛生事業のために献身的活動を続け、その功績が特に顕著である個人、団体が対象となる賞です。倉島氏は、昭和52年より新潟県理学療法士会理事に就任、その後昭和56年から4年間副会長、昭和60年から8年間会長を務められました。

県理学療法士会草創期から現職者講習会や第3回、第10回関東甲信越ブロック学会の開催をはじめ、新潟県で初めての「障害者のリハビリテーションと福祉機器の展示会」を開催するなど、理学療法士会の活動の拡大に尽力されました。

また、介護保険制度の開始前から新潟県高齢者ケアサービス体制整備支援事業検討委員に就任し、制度開始とともに介護支援専門員養成事業に関わり、平成10年からは介護支援専門員実務研修の講師を長年務め、多くのケアマネージャーを養成し、県、市町村の介護事業に貢献されています。

他に、理学療法士として奉職以来、退院後の患者の生活に目を向け、現在の訪問リハビリ制度の開始前から、在宅訪問活動を開始されました。また老人保健法における市町村の機能訓練事業に積極的に協力し、地元、当時の水原町をはじめ近隣約10市町村の事業に参加、また新津保健所、新発田保健所が行う難病対策事業（脊髄小脳変性症やパーキンソン病等）などにも協力されています。その他県内各地の健康対策事業の講師として派遣され講演活動等により従事者を育成、その活動を通し地域貢献を果たされています。

表彰式は2月20日東京都で行われました。倉島先生、これからも健康に留意され、ますますご活躍いただき、私たちをお導きいただきますようよろしくお願い申し上げます。

この度は誠にありがとうございました。

令和6年4月

表彰委員会 中山 裕子



「新潟県小児理学療法マップの改訂について」

平素より（公社）新潟県理学療法士会の活動にご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。
障がい児・者支援委員は、新潟県小児理学療法マップ（以下マップ）の改訂に向け、小児疾患に関わる理学療法士が在籍している施設の皆様に情報提供をお願い致しておりました。情報提供を頂きました施設の皆様には心より感謝申し上げます。

頂戴しました情報のもと、この度改訂版のマップが完成致しましたので、ご報告いたします。改訂版のマップは、従来の物より施設数が増え、35施設の情報を掲載しております。新潟県理学療法士会ホームページ上からダウンロードいただけます。ぜひご活用下さい。

【小児理学療法マップの目的】

- ①理学療法を必要とするお子さんとご家族に対して、新潟県内の小児理学療法の実施状況に関する情報を提供すること
- ②県内における小児理学療法の介入状況を県士会会員が把握するとともに連携しやすくなること、施設利用に関する問い合わせ等に円滑に対応できること

【マップの掲載内容に関するお問い合わせについて】

施設詳細に関するお問い合わせは各施設に直接お願い致します。

また、マップの内容の修正および追加掲載などのご連絡は以下のマップに関するお問い合わせ先迄お願い致します。

マップに関するお問い合わせ先：nipta.pedi.map@gmail.com
（公社）新潟県理学療法士会 障がい児・者支援委員会一同

2023年度 第4回理事会議事録

日 時：2023年12月23日 13：00～17：20

場 所：新潟県理学療法士会事務局およびWebにて実施

参加者：

理事 佐藤成登志、中山裕子、高鳥真、郷貴大、
小林諭、田村友典、北村拓也、田中健、
犬飼康人、小島渉、長谷川恵、柳保、
小川恵一、飯田晋、山本典子、藤澤明彦、
樫出敬介

ブロック長 荻井夏江、諏訪和彦、松本香好美、
高野義隆、本間宏彰

委員長 石井康朗、小野塚智紀

監事 太田智英、堀川武範

1 会長挨拶

2 報告事項

1) 各部局から事業報告・今年度の今後の事業計画
について資料を基に報告

<会長>

2月17日に関東甲信越ブロック協議会士会長会議が宇都宮で開催される。今年度と次年度は当士会が会長と事務局を担当する。また、2025年に関東甲信越ブロックの50周年記念誌を発行するが、各県士会から委員を選出することになり、当士会からは藤澤理事を選出した。

<厚生部 藤澤>

会員死亡の通知があり、規定に則り弔慰金を支払う。

会長から次回総会にて黙祷することで本会員に哀悼の意を表す提案があり了承された。

<事務局長 郷>

協会と意見交換会があり、「広報」「休退会者の状況」「外部資金の活用」について話し合いがもたれた。

2) その他の報告

- ・日本災害リハビリテーション支援協会（JRAT）新潟代表の新潟大学 木村先生から、事務局を新潟リハビリテーション専門職協議会に移してほしいと要望があった。事務局引き受けは難しいと判断。
- ・2025年開催の第60回日本理学療法学術研修大会に向け、関東甲信越ブロック協議会から新潟医療福祉大学の犬飼理事が準備委員に選出された。大会はWPC（世界理学療法連盟学会）と同時開催となる。その中の企画に県士会から一人若手会員を推薦し、次世代の取り組みを報告するものがあり、後日県士会に推薦の依頼がある。また、賛助会員として各県士会に一口2万円の依頼がある。
- ・2023年度協会代議員選挙が2024年1月10日告示される。新潟県の代議員定数は4名、補欠2名である。立候補者が定数を超えた場合は選挙になる。

3 協議事項

1) 2024年度事業計画案について

資料を基に各部署局長が説明した。

<会長>

次年度の重点目標として昨年度のものに加えて、市町村首長との連携強化、新規入会者促進として養成校卒業生への案内強化、リハビリ専門職協議会におけるPT・OT・STの連携促進を特に力を入れたい。

諏訪委員から中越ブロックのエリアが大きいので、魚沼エリアを独立したらどうかと提案あり。次年度検討すると会長・副会長から答弁があった。

<総務・厚生部 >

厚生部では会員の結婚に際し祝電を送っているが、結婚式の多様化から最近では祝電の申し込みが少ない。結婚した会員へ会長からのお祝いメッセージと共にQUOカードを贈呈し祝意を表す事業に変更する提案あり。協議の結果、3,000円QUOカードを贈呈する、2024年4月1日以降の入籍を対象とすることで提案が承認された。

<広報部>

県民への戦略的な発信についても検討して行く。

会員へ効果的なメルマガ配信について協議した。引き続き検討してゆく。

県士会ホームページの表示を工夫し、学会情報などを見やすくしてゆく。

<生涯学習部>

本間佐渡ブロック長から研究方法の学習支援について県士会の取り組みについて質問あり。会長から、要望があれば支援を希望する人と支援できる人とのマッチングを行うと回答あり。

新人研修開催について、養成校を卒業したが入会していない人へ案内する方法を協議した。県士会の取り組みを伝えるなど、入会促進のためのしくみ作りを考えてゆくことになった。

<地域包括ケアシステム推進部>

コロナ禍の影響で半日開催だった地域包括ケアシステム推進リーダー導入研修は通常の1日対面開催となる。

今年度、日報主催のコグニサイズ研修会が好評であった。次年度はブロックでの研修会に導入できるよう検討している。

会長より新潟市のフレイル事業予算は今年度と同様となる見込みと情報提供あり。

<就労支援部>

管理者研修会は10月の学術大会で行うことを予定している。

休職者を対象にした復職のための研修会事業を次年度から始める。

<渉外部>

協会や連盟から診療報酬改定等に絡み情報が届いている。

理学療法士の賃金ベースアップについて具体的検討がなされていると報告あり。

新潟県予算案に係る要望について政策提言を県連盟と協力しまとめていく。

<スポーツ活動支援部>

協会では次年度認定スクールトレーナー養成を検討しているとの情報があり、情報収集を引き続き行う。

<ブロック事業部>

次年度はブロック事業部部員が分担し各ブロックの会議に参加する予定である。

<新潟西ブロック>

地域包括ケアシステム推進部と協力した研修会についても検討したい。

<災害対策委員会>

新潟県3士会災害対応マニュアルを大幅に修正中である。

<地域活動推進委員会>

現在30市町村に次年度の意向調査を行っており、その情報を6団体に提供する予定である。

<障がい児・者支援委員会>

特別支援学校等への外部専門家派遣について県内学校の状況や、他県の状況について情報収集を進める。

特別支援学校への派遣事業を継続するために県との意見交換を通じて予算化を要望して行きたい。今年度作成した小児理学療法マップの配布について、印刷物として配布するか、電子データを担当者に渡すかを検討する。

<高齢者就労支援委員会>

すでに十日町シルバー人材センターから次年度の依頼が来ている。

協会からの補助金事業は今年度で終了し、次年度からは自前で行ってゆくことになる。収支で見ると今年度は赤字であった。

産保センターの事業が増えてきている。現在、保健指導員は7名であり、研修会を行い今後増やす予定。

<表彰委員会>

協会賞に会員を推薦する。

<学会準備委員会>

第30回新潟県理学療法学会の準備委員会を進めている。内容は以下の通り。

テーマ：「超高齢社会を支える」～連携と支援～、

開催日程：令和6年10月26日（土）・27日（日）、

会場：市民交流施設アオーレ長岡

大会長：諏訪和彦（長岡赤十字病院）

準備委員長：金子功一（生協かんだ診療所）

2025年度開催の第3回新潟県リハビリテーション専門職学会大会に向けST士会が担当で準備を進めている。

2026年度の第31回新潟県理学療法学会大会は新潟地区で開催予定。

<政治活動推進委員会>

資料の通り

<その他>

会長より新潟ユニゾンプラザ内で以前レストランが入っていたスペースの活用について公募されていること、リハビリテーション専門職協議会で検討し、リハビリテーション総合相談窓口の設置や市町村への派遣依頼窓口設置などを目的にPT・OT・ST士会が共同で借用を検討していること、借用料は年間100万円程度の見込みであることが説明された。応募には書類提出期限が令和6年1月22日、1月下旬に選定委員会開催、2月中旬に採択の可否が決定予定である。協議の結果、PT士会として応募に賛成することが決定した。借用が決定した際の費用を予算に盛り込むことも併せて承認された。

第6回理事会の日程については2024年3月3日に行う。

次回理事会 2024年1月28日（日）開催

2023年12月23日

会長 佐藤成登志

監事 太田 智英

堀川 武範

以上

2023年度 第5回理事会議事録

日時：2024年1月28日 10:00～16:45

場所：新潟県理学療法士会事務局およびWebにて実施

参加者：

理事 佐藤成登志、中山裕子、高鳥真、郷貴大、小林諭、北村拓也、柳 保、田中健、立石学、犬飼康人、大野智也、小島 渉、

長谷川恵、五十嵐進、小川恵一、飯田晋、藤澤明彦、檜出敬介、山本典子

ブロック長 荻井夏江、諏訪和彦、松本香好美、若菜翔哉、高野義隆、本間宏彰

委員長 深川新市（相談役）、

劔物充（障がい児・者支援委員副委員長）、小野塚智紀

監事 堀川武範

1 会長挨拶

2 報告事項

1) 各部局から事業報告・今年度の今後の事業計画について資料を基に報告。

<会長>

1月1日の能登半島地震による会員の被害状況の把握に努めている。JRATからの要請を受け、県内からはPT1名OT1名を本日から派遣する。

<財務部 小林>

本土会のインボイス制度の立ち位置について説明あり。本土会は免税事業所であり、インボイス登録番号は発行されない。今後も登録する予定はない。

<厚生部 藤澤>

第29回新潟県学術大会懇親会申し込み者数は今日現在60名。2月15日まで期限を延長する。

理事会承認

2) その他報告事項

<令和6年能登半島地震に伴う会費減免と見舞金支給について 郷事務局長>

協会から能登半島地震に伴う会費減免と見舞金支給について案内が届いている。4月30日が締め切りになっている。県士会事務局を通じて申請となる。

<令和6年能登半島地震の会員の被害状況について 郷事務局長>

家族を含め人的被害はない。家屋の被害は十数件報告がある。

理事会承認

3 協議事項

1) 2024年度事業計画について資料を基に協議

<2024年度事業方針について>

2023年度の重点項目を発展させ2024年度の10の重点項目について会長から説明あり。

柳：部員登録制度が通常の部員とどのように違うか説明をお願いしたい。

会長：事業ごとに会員に事前登録しておいてもらい、マッチングする体制を作り事業運営がスムーズにいくことを期待するものである。

<総務部・厚生部の事業に関して>

藤澤：会員の結婚お祝い事業としてこれまで祝電を送ってきたが、お祝いメッセージとQUOカード3,000円分を贈る事業に変更する。

<財務部の事業に関して>

小林：次年度は新たに部員1名を増やし3名の体制

で行う。

<広報部の事業に関して>

北村：広報方法について電子媒体に変更するなど検討して行きたい。

<生涯学習部の事業に関して>

田中：次年度は県士会主催の臨床実習指導者研修は行わない。

5月26日(日)に前期講習会を行い、そこで新人研修を合わせて行う。

<学術誌部の事業に関して>

立石：掲載論文の募集方法について工夫していきたい。

佐藤：学会で優秀演題を表彰し、その演者に論文をお願いすることも一つの方法。検討してほしい。

<地域包括ケアシステム推進部の事業に関して>

大野：以前好評だったコグニサイズ研修をブロックでの研修に展開できたらと思っている。ブロックでの研修企画を検討してほしい。

<就労支援部の事業に関して>

長谷川：復職のための研修会を少人数からスタートさせたい。

<公益事業部の事業に関して>

柳：小さい規模の福祉まつりへも参加を検討したい。

<保険部の事業に関して>

柳：診療報酬、介護報酬、障害福祉サービスのトリプル改定に対応したい。

<渉外部の事業に関して>

小川：資料のとおり

<スポーツ活動支援部の事業に関して>

飯田：小中学校の部活動への支援について検討したい。

<災害対策委員会の事業に関して>

小野塚：資料のとおり

<ブロック事業部の事業に関して>

山本：部員が各ブロックへ参加する形にしていきたい。

<上越ブロックの事業に関して>

荻井：上越市の高齢者政策について研修に入れていく。

上越市の地域訪問リハビリテーション事業の担当者調整を行う。

<中越ブロックの事業に関して>

諏訪：資料のとおり

＜下越ブロックの事業に関して＞

若菜：資料のとおり

＜新潟西ブロックの事業に関して＞

松本：ブロック交流会を進めたい

＜新潟東の事業に関して＞

高野：資料のとおり

＜佐渡ブロックの事業に関して＞

本間：少ない会員ではあるが会員で仕事を分担し行ってゆきたい。

市への助言者派遣について会員一人1時間5千円であることを改めて市に伝える。

＜地域活動推進委員会の事業に関して＞

深川：次年度の地域包括ケア会議への専門職派遣調整事業は16市町村で実施。

会長：次年度は派遣調整事業を行っている市町村について会員に広報するよう調整したい。

＜障がい児・者支援委員会の事業に関して＞

剣物：資料のとおり

＜表彰委員会の事業に関して＞

中山：資料のとおり

＜倫理委員会の事業に関して＞

郷：資料のとおり

＜労働者就労支援委員会委員会の事業に関して＞

中山：産業保健センターから講師派遣依頼が増えてきている。

＜学会準備委員会の事業に関して＞

高鳥：資料のとおり

＜政治活動推進委員会の事業に関して＞

五十嵐：日本理学療法連盟が作成するオンラインセミナーのコンテンツを活用し、研修会参加費を新潟県理学療法連盟の収入になるシステムを作ってゆく。

会長：日本理学療法連盟に対し関ブロ学会におけるブースや会議室の借用等について、前もって計画を関ブロ協議会会長に提出するシステムを作るように申し入れをした。

理事会承認

2) その他の協議

・厚生部藤澤部長より県士会「弔慰金贈与内規」の一部見直しについての提案

現在会員の死亡時の弔慰金は当該年度会費分となっているが、会費についてはシルバー割引や育児休暇割引があるため会員の状況により贈与金額に差が生じる。協会の規定と同様に金額を規定に明示する内規見直し提案あり。改定する方向で次回理事会にて内規案を作成し協議することになった。

・部員が他の部局の事業に参加する場合の旅費等は所属の部で予算計上し、実施した際には所属の部から財務部に請求を上げる。その際に議事録では個人の参加が明示されている必要がある。

理事会承認

3) 2024年度予算検討について資料を基に協議

冒頭に小林財務部長から各部局から出された予算を集計したところ、収入から費用を差し引くと2,243千円の赤字予算となっている、費用を少しでも圧縮できるよう検討してほしい旨説明がなされた。その後各部局から出された予算を精査した。

＜総務部＞

PT・OT・ST三士会合同事務局をユニゾンプラザに借用する件について話をすすめている。決定した場合の借用費用を新たに計上している。

＜財務部＞

部員1名増員した分の経費を新たに計上した。

＜学術局＞

研修会や学会の参加費について県士会員の割引が大きくなるような料金設定にしたい。

精査の結果700,000円の費用の圧縮がなされた。

理事会承認

＜全体予算の考え方について＞

堀川：事業が拡大し予算が大きくなり費用も多くなってきている。収入を増やすことと費用を減らす努力をこれからもお願いしたい。

理事会承認

会長 佐藤成登志

監事 堀川 武範

以上

2023年度

公益社団法人 新潟県理学療法士会 第6回理事会議事録

開催場所 公益社団法人 新潟県理学療法士会事務局 (Web会議)

開催日時 2024年3月3日 (日曜日)
開会 10時 閉会 13時

理事数 現在の理事数 20名
出席理事数 17名

出席者 佐藤成登志、中山裕子、高鳥真、
郷貴大、藤澤明彦、檜出敬介、
小林諭、田村友典、田中健、立石学、
大野智也、小島渉、長谷川恵、
小川恵一、飯田晋、山本典子、
五十嵐進

欠席者 柳保、北村拓也、犬飼康人

監事数 現在の監事数 2名
出席監事数 2名

出席者 太田智英、堀川武範

相談役 現在の相談役数 1名
出席相談役数 1名

出席者 深川新市

議長要請による出席者
篠澤毅泰 (公益事業部副部長)
小野塚智紀 (災害対策委員長)

議長 佐藤成登志会長 (定款第33条)

1. 議事の経過の要領及び結果

佐藤成登志会長が議長となり、理事・監事の2分の1以上の出席のため本会議の成立を宣した。

(1) 報告事項

第1号報告 2023年度各部1、2月期事業報告および今後の活動について

議長より本件に関わる説明がなされ、各部に資料の補足説明を求めたところ補足説明は無かった。

理事会は了承した

第2号報告 Zoomの活用について

高鳥学術局担当理事からZoomの活用について説明がなされた。ライセンスの供用(使いまわし)が禁止されていること、そのためアカウント名は組織の名前ではなく個人の名前にする必要があること、代替ホスト割り当て機能について各々

参照されたい旨、報告がなされた。

理事会は承認した
第3号報告 ailead (自動録画文字起こしサービス)について

高鳥学術局担当理事から説明があり、後日、機能についての説明会を開催する旨、報告があった。

理事会は承認した
第4号報告 第29回新潟県理学療法学会について

高鳥学会準備委員会担当理事から大会総参加数419名、総収入から総支出を引いた金額は112,807円の赤字であったものの、山本大会長、荻井準備委員長以下、上越の準備委員、運営委員が事前準備や当日運営をしっかりと行い、盛会裏に終えることができた旨、報告がなされた。

議長は公益事業部副部長 篠澤毅泰氏に本理事会への参加を要請し、学術大会会場で開催された市民公開講座について報告を求めた。篠澤氏から参加者総数303名、内訳は会場に一般市民164名、会員56名、Web参加83名と大変多くの参加者があった旨、報告がなされた。

理事会は承認した
第5号報告 2024年度定時総会日程について

篠澤総務担当理事から2024年6月9日(日)となることが報告された。

理事会は承認した
第6号報告 2024年度第1回理事会(拡大)日程について

篠澤総務担当理事から2024年4月20日(土)9時からの開催することが報告された。

理事会は承認した

(2) 決議事項

第1号議案 Webinara500の契約について

高鳥学術局担当理事は研修会参加人数が増えていること、そのためWebinara500の契約が必要であること、そのための契約料について説明をした。年間予想使用頻度と契約に係る費用について協議した。採決の結果、必要時には1か月の契約とし、年間契約は見合わせる事が決議された。

第2号議案 新潟県理学療法士会からの新潟JRAT県外災害派遣に関する費用の立替について

議長は災害対策委員長 小野塚智紀氏に本理事

会への参加を要請し、提案趣旨の説明を求めた。

小野塚氏から本件の目的、対象、方法について説明がなされ、協議の結果、理事会は提案通り承認した。

第3号議案 2024年度各部事業計画案について

議長は2024年度事業計画案について各部局担当理事に対し前回理事会以降変更がある部局の発言を求めた。

飯田スポーツ活動支援部担当理事から、2024年度に協会が主催する認定スクールトレーナー養成講習会への会員派遣について、派遣会員と費用負担の提案がなされた。協議の結果、派遣会員の今後の活動についてより詳細な情報が必要であり、協会から情報を得た後再度検討することになった。

山本ブロック担当理事から上越ブロックで計画している、上越市地域リハビリテーション事業へのかかわりについて計画案の説明がなされた。協議の結果、上越ブロックが地域リハビリテーション事業の講師派遣調整を行う際の事務経費について、2024年度は当士会が負担し、その実績を基に、上越市に対し2025年度予算に派遣調整に係る事務経費を計上するよう働きかけることとなった。

2024年度事業計画案について採決の結果、承認された。

第4号議案 公益社団法人新潟県理学療法士会 弔慰金贈与内規改定案について

藤澤厚生部担当理事がこの件について説明し、協議の後、採決の結果、承認された。

第5号議案 2024年度予算案について

小林財務部担当理事から2024年度予算案につい

て説明がなされた。1,035,217円の赤字予算となる。積立金はなし。決算時に余剰金があれば積み立てる予定である。学会運営委員会とスポーツ活動支援部で追加の費用が発生する可能性があり、予備費として新たに30万円計上する。よって、1,335,217円の赤字予算となる。議長はこの件について質問を求めた。

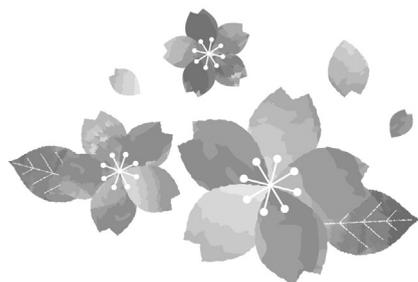
高鳥理事は2023年度の決算見込みについての説明を求めた。小林理事は予算執行率がおおよそ90%前後であり、事業決算は黒字の見込みであると答弁した。

小林理事はユニゾンプラザの事務所借用について、今年度の経過と次年度の取り組みについて説明を求めた。佐藤会長は今年度の応募は不採択になったものの当士会としては必要であること、そのためにOT士会、ST士会と協議・連携し次年度も応募を計画している、そのための予算を計上していると答弁があった。

2024年度予算案について採決の結果、承認された。

以上をもって議事を全て終了したので、議長は13時に閉会を宣言した。

会長 佐藤成登志
監事 太田 智英
堀川 武範
以上



義肢・装具・車いす・インソール

ご相談、ご用命は弊社にお任せください。



（株）田村義肢製作所

〒950-1151 新潟市中央区湖南21-11

TEL: (025) 281-0303

FAX: (025) 281-0339

田村義肢 検索

育児休業割引、シニア割引のご案内

- （公社）日本理学療法士協会、（公社）新潟県理学療法士会の年会費には割引制度があります。
- 申請は協会マイページのメニュー>会員管理 > 会費割引申請 からお願い致します。
- 「海外会員」割引もございます。
- 詳細は協会ホームページをご参照ください。

1. 育児休業割引

- ・【協会年会費・県士会会費（新潟）】割引後 ご請求額 合計 5,000円
- ・【対象】育児休業期間中に**割引申請を行った会員**（申請書類が必要です）
- ・【割引適用年度】申請年度の翌年度の年会費に適用
- ・育児休業を取得されていない方（退職している等）は対象外です

2. シニア割引

- ・【協会年会費・県士会会費（新潟）】割引後 ご請求額 合計 5,000円
- ・【対象】満65歳以上かつ会員歴25年以上の在会会員で**割引申請を行った会員**
- ・【割引適用年度】申請年度の翌年度の年会費より適用を開始し、以降自動継続です

令和6年能登半島地震被災による会費減免、見舞金について

- ①（公社）日本理学療法士協会「会費減免・見舞金等の支給に関する規程」に基づき、見舞金の支給ならびに会費の免除をいたします。
- ② 士会費の免除取扱いについて
 - ・協会会費免除対象者に対しては、士会費も含めて全額免除とさせていただきます。
 - ・会費免除の適用は2024年度分となります。
 - ・会費徴収前に申請可能な方は、徴収をしない予定です。また会費徴収後の申請になる場合は後日返金の予定です。

・日本理学療法士協会HP

・会費減免・見舞金等の支給に関する規程（PDF：106KB）

・ご案内／見舞金・弔慰金および会費免除申請書（PDF：109KB）

「ご案内／見舞金・弔慰金および会費免除申請書」を上記リンクからご確認いただき、それぞれの規程に該当する方は、「見舞金・弔慰金および会費免除申請書」に必要事項を記入の上、自治体が発行する「罹災証明書（コピー可）」を添付ください。

※罹災証明書（コピー）は1通で結構です。罹災証明書につきましては、最寄りの市町村へご申請ください。市町村により申請期間が異なります。短期間の場合もありますので、必ず事前にご確認ください。

（参考）罹災証明書について <http://www.bousai.go.jp/taisaku/pdf/r203shoumei.pdf>

申請期限：2024年4月30日（火）

※罹災証明書の発行が間に合わず、上記期日までのご申請が難しい場合は、本会事務局へご相談ください。

【本件 お問合せ】 公益社団法人日本理学療法士協会 事務局 経理課 会費担当

TEL：03-6804-1421

E-mail：billing-chg@japanpt.or.jp

【送 付 先】

新潟県士会会員は、「新潟県理学療法士会 事務局」にご郵送ください。

〒950-0912 新潟市中央区南笹口1丁目1番38号 コープオリンピア笹口303号

（公社）新潟県理学療法士会 事務局

事務局ニュース

1 会員の動き「2024年1月～2024年3月集計」

- 【新入会】 ・ 1件
- 【県内異動】 ・ 22件
- 【転入】 ・ 7件
- 【転出】 ・ 4件
- 【休会】 ・ 33件
- 【復会】 ・ 0件
- 【退会】 ・ 15件
- 【育児休暇割引】 ・ 3件
- 【シニア割引】 ・ 1件
- 【施設名称変更】 ・ 0件
- 【施設住所変更】 ・ 0件

2 他士会関係

① ニュース（他県士会）

- 和歌山県 No.100
- 神奈川県 No.298
- 鹿児島県 No.138 No.139
- 兵庫県 No.202 No.203
- 京都府 No.294
- 茨城県 No.182
- 広島県 No.276
- 熊本県 第144号
- 北海道 No.238
- 大阪府 第301号 第302号
- 愛知県 No.212
- 秋田県 Vol.211
- 長野県 No.86
- 滋賀県 No.224
- 山梨県 No.162

② 学術誌・学会誌

- 理学療法兵庫No.29
- 新潟県作業療法士会学術誌Vol.18 2024
- 理学療法－技術と研究－（公益社団法人神奈川県理学療法士会）
- 高知県理学療法 第30巻
- 理学療法京都 第53号

③ その他

- 2023年度版新潟県訪問看護ステーション活用ガイド（新潟県訪問看護ステーション協議会）
- next STage 第86号（一般社団法人新潟県言語聴覚士会）

- 令和4年度センター年報（新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター）
- 日越外交関係樹立50周年記念事業（公益財団法人国際医療技術財団）
- 陽光No.36（公益財団法人新潟県健康づくり財団）
- ふれ愛にいがた24号（社会福祉法人新潟県身体障害者団体連合会）
- 新潟県訪問看護ステーション協議会だより第9号
- 老健にいがた 第54号（新潟県介護老人保健施設協会）
- ニュースレターNo.26（新潟県難病医療ネットワーク）
- 響希Vol.18（一般社団法人新潟県介護支援専門員協会）
- JPTANEWS Vol.346 Vol.347（公益社団法人日本理学療法士協会）
- Nolimi+ vol.96（公益財団法人日本パラスポーツ協会）

3 異動・休会・復会・退会の手続きについて

異動（休退会含む）が生じ次第、速やかに協会マイページより、変更手続きをお願いいたします。

休退会、転出については、年会費の未納がある場合はお手続きが出来ません。納入確認後にお手続きをお願いします。

「育児休業割引」「シニア割引」「海外会員割引」もごさいます。休退会手続きの前に、協会または県士会ホームページをご確認ください。

※マイページID、パスワード紛失の場合は日本理学療法士会TEL：03-6804-1421へお問合せください。<自宅会員へのお願い>

現在、施設に所属して自宅会員で申請している方へお願いです。

所属施設でまとめて郵送物を受け取れますよう自宅から施設への変更手続きを協会マイページよりお願いいたします。

[問い合わせ]

〒950-0912 新潟市中央区南笹口1丁目1番38号
コープオリンピア笹口303号
公益社団法人 新潟県理学療法士会 事務局 宛
TEL：025-250-7660 FAX：025-250-7661
（電話対応は月曜～金曜の9：00～15：50）
E-mail：jimukyoku@nipta.jp

メルマガ配信の通知方法変更について

新潟県理学療法士会では、2023年3月からメルマガ配信による情報発信から日本理学療法士協会の公式アプリケーション（JPTAアプリ）を通じた発信に変更いたしました。この変更は研修会等の案内や緊急性の高い情報をより迅速に会員の皆様にお届けするためのものです。

ぜひ、お手持ちのスマートフォン等から最新情報をご確認いただけますようお願いいたします。



日本理学療法士協会メンバーアプリ

【確認手順】

1. JPTAアプリを開きます。
2. ①画面左下のお知らせを開きます。
3. ②お知らせ一覧を確認します。
4. ③ブラウザまたはファイルを表示

ブラウザを表示

→士会HPの会員限定ページに飛び、過去のメルマガ資料全て確認できます。

ファイルを表示

→当該月の情報がPDFで確認できます。

以下、JPTAアプリの対応機種等情報です

(<https://www.japanpt.or.jp/pt/announcement/newsystem/>)

※会員マイページ専用アプリはスマートフォンまたはiPadでのみご利用いただけます。

【問い合わせ】

(公社) 新潟県理学療法士会 事務局広報部 (新潟リハビリテーション大学内)

TEL : 0254-56-8292 (代表)

Mail : kitamura@nur.ac.jp



編集後記

年度が変わり、2024年度がスタートしました。新会員の皆さんは働き始めて1ヵ月が過ぎましたが少しは慣れてきましたでしょうか。わからないことだらけで慣れない環境は不安も多いことと思います。そんな時には職場の先輩方や同僚、学校の先生にたくさん甘えて色々なことを学び、一緒に理学療法を盛り上げていけたらと思います。多様な価値観、理解する努力、向き合う優しさ、そんな変化を楽しみながら社会貢献です。(T)

ゆきわり草 No.207

編集責任者 北村 拓也

問い合わせ先 新潟リハビリテーション大学
〒958-0053 村上市上の山2-16
TEL (0254) 56-8292
FAX (0254) 56-8291
E-mail : kitamura@nur.ac.jp